

第六分科会「障害者自立支援法と育成会」

第六分科会では、副島全日本

りません。ひとりひとりが助け合い、譲り合い、感謝して生きていけること、そして、今日ここで発表できたことは自分ひとりでできたことでは

ありませんと報告されました。旭川市の佐々木さんは、結婚してはいますが、身体をこわし長い間勤めていた職場を退職し、今は通所施設で過ごしています。就労しているときは、給料を頂くと二人で楽しく出かけたりました。今は給料も以前の三分の一になり、これからの生活が心配と話され、会場では涙を流しながらうなずいている人もありました。

又、札幌市育成会の栄利さんや白老町育成会の佐藤さんは、親亡き後を考えると、「この子より一日でも長く生きたい」、「地域で安心して暮らせる町はどんな町」、「地域なかで安心・安全にくらすための支援とは」等について、育成会活動の活性化のあり方として親の立場から提言されました。

(笹野井庸夫)

援センターの仕事に出会い、なんとか再出発し、障害者が住み慣れた地域で伸び伸びと生活できることを願っていますと報告されました。

また、伊達わかば会の山本和弘さんからは、当事者の声として、障害基礎年金の金額の低さ、ジョブコーチの増員、療育手帳を全国共通の持ち歩き便利なカードにしてほしいなど具体的な要望を提案されました。

このほかの提言者からも、自立支援法に関わる様々な課題、育成会とのかかわり等の視点から、これからの育成会活動をすすめるための具体的な提案・報告があり、本人たちの素直な声に感動し、私どもも真剣に取組まなければと、心新たにしました。

午後、シンポジウムでは、地域就労支援センターtomotoの山本修さんからは、学齢期は特殊学級で、高等部は養護学校で三年間寄宿舎生活をされたのち、一般の会社に就職し、障害者に対する偏見、差別、イジメのため、精神的にボロボロになり、結局勤めを辞める生活を送ることに。その間に、現在の支

援センターの仕事に出会い、なんとか再出発し、障害者が住み慣れた地域で伸び伸びと生活できることを願っていますと報告されました。

また、伊達わかば会の山本和弘さんからは、当事者の声として、障害基礎年金の金額の低さ、ジョブコーチの増員、療育手帳を全国共通の持ち歩き便利なカードにしてほしいなど具体的な要望を提案されました。

このほかの提言者からも、自立支援法に関わる様々な課題、育成会とのかかわり等の視点から、これからの育成会活動をすすめるための具体的な提案・報告があり、本人たちの素直な声に感動し、私どもも真剣に取組まなければと、心新たにしました。

(竹山和子)

親子バスツアーのご案内

担当 大谷・藤本
大阪市天王寺区東高津町
八番六号坂東ビル三階
☎六・六七六四・三〇七一
☎六・六七六四・三〇七四

この度、親子バスツアーを開催することになりましたので、参加を希望される方は、次のおりお申込みくださるようお願いいたします。

なお、この事業は、大阪市の地域活動育成事業において一部を補助して開催いたします。

日時
平成二十年十一月十五日(土)
九時十五分から十七時頃

行き先
東条湖おもちゃ王国
(兵庫県加東市黒谷二二一六)

参加費
大人(中学生以上) 二五〇〇円
親子で五〇〇〇円
小人(小学生以下) 一三五〇円
(親子で四八五〇円)

定員 六十名
(定員になり次第調整します)

申込み
申込書と共に、現金もしくは郵便振替にて十一月六日(木)までにお申込みください。

お申込み・お問い合わせ先
(社) 徳大阪市知的障害者育成会

十一月部会等日程案内

☆地域活動・就労支援事業所 協議会
十一月十一日(火) 午後二時
(二〇三、三〇四号室)

☆就労部会
十一月四日(火) 午前十一時
(三〇五号室)

☆学齢期部会
親子バスツアーに参加します
☆地域生活支援部会
十一月二十日(木)
午前九時三十分
(三〇五号室)

☆支部連絡会
十一月二十日(木) 午後二時
(三〇一号室)

☆月例役員会
十一月六日(木) 午前十時
(居宅事業所会議室)

☆施設長会
十一月七日(金) 午前十時
(居宅事業所会議室)

...



来年の全国大会は近畿プロツクの滋賀県です。「命はぐくむ琵琶湖から、今あらためて、この子らを世の光に、親として」